

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	浜見平団地(建替)第2期第1住宅建設その他工事(駐車場棟)	階数	地上2F
建設地	茅ヶ崎市浜見平386-1他6筆の一部	構造	RC造
用途地域	第1種中高層住居専用地域、準防火地域	平均居住人員	0人
気候区分	地域区分	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年9月 予定	評価の実施日	2013年8月6日
敷地面積	3,061 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社 鴻池組
建築面積	1,820 m <sup>2</sup>	確認日	2013年8月7日
延床面積	3,545 m <sup>2</sup>	確認者	株式会社 鴻池組



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.9** ★★☆☆☆☆

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算  
 30%: 建設 60%: 修繕・更新・解体 80%: 運用 100%: オフサイト 100%超: オフサイト

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.4**

Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
Q1のスコア = 0.0	Q2のスコア = 2.7	Q3のスコア = 2.1
音環境: N.A., 温熱環境: N.A., 光・視環境: N.A., 空気質環境: N.A.	機能性: N.A., 耐用性: 3.0, 対応性: 2.4	生物環境: 2.0, まちなみ: 2.0, 地域性: 2.5

**LR のスコア = 3.4**

LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
LR1のスコア = 3.8	LR2のスコア = 2.9	LR3のスコア = 3.4
建物の: N.A., 自然エネ: 3.0, 設備システ: 5.0, 効率的: 3.0	水資源: 3.0, 非再生材料の: 2.5, 汚染物質: 4.3	地球温暖化: 3.9, 地域環境: 3.3, 周辺環境: 3.0

### 3 設計上の配慮事項

総合	その他
<p>地表面の緑化だけでなく壁面緑化にも積極的に取り組み、敷地内外の温熱環境に配慮している。</p>	
<p><b>Q1 室内環境</b></p>	<p><b>Q2 サービス性能</b> 外壁はコンクリート打放しの上、複層仕上げ塗材とし更新必要間隔に配慮している。</p>
<p><b>LR1 エネルギー</b> LEDを採用しLCCO<sub>2</sub>の排出量に配慮している。</p>	<p><b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 敷地内の緑化、壁面緑化を行い敷地内温熱環境に配慮している。</p>
	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b></p>
	<p><b>LR3 敷地外環境</b> 地表面の緑化だけでなく壁面緑化にも積極的に取り組んでいる。</p>

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される